

「虚偽・ヘイト放送」沖縄で反発

MXテレビ「ニュース女子」

「韓国人なぜ反対運動」→消防「事実ない」



沖縄県東村高江の米軍ヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)建設への抗議活動について報じた東京メトロポリタンテレビジョン(MXテレビ)の番組に、反発の声が上がっている。取り上げられた団体は「意図的な歪曲」「人種差別的な発言」と指摘し、沖縄の地元紙も「沖縄ヘイト」などと批判。局側は16日、「議論の一環として放送した」との見解を番組で流した。

番組は月曜午後10時から放送中の「ニュース女子」。東京新聞論説副主幹の長谷川幸洋氏が司会を務め、時事問題についてゲストが語り合う。

1月2日の放送で、軍事

ジャーナリストの井上和彦氏が現地の様子を報告している。VTRの冒頭、井上氏は抗議活動をしている人を遠くから眺め、「いました。反対運動の連中がカメラに向けているところの方を見て

ます」とリポート。「近く敵意をむき出しにして緊迫した感じになります」と伝えた。井上氏がトンネル前に立ち「このトンネル

をくぐると建設現場」と説明し、「反対派の暴力行為により地元の住民でさえ高江に近寄れない状況」とナレーションが流れる場面も。

ただ、このトンネルからヘリパッド建設現場までは直線距離で25キロ。この間ではリゾートホテルなどが営業し、一般の人も自由に行き来している。

識者「最初から反対派敵視」

東京メトロポリタンテレビジョン
1995年に開局した東京ローカルの地上波テレビ局。アニメや夕方の情報番組「5時に夢中!」などが人気。日本民間放送連盟の作の番組が占める割合は25%

2004年、NHKの不祥事で当時の海老沢勝二会長が国会に参考人招致されたことで、議論が急ぎよ中継したことが話題になった。主要株主はエフエム東京、中日新聞社、東京都など。

MXテレビは16日の「ニュース女子」放送に続けて「1月2日に放送しました」とテロップを表示。ニュース女子の「製作・著作」は化粧品大手の子会社。化粧品大手は取材に対し「担当者が不在で答えられない」としている。

（小山謙太郎、田玉恵美）

Media Times

メディアタイムズ

また地元住民にインタビューや「(反対派が)救急車を止めて現場に急行できない事態が続いている」とも伝えたが、地元3村を管轄する国頭地区行政事務組合消防本部は朝日新聞の取材に対し「そのような事実はない」と答えている。

スタジオでは出演者が、高江の抗議活動に加わる人権団体「のりこえねっと」について、「5万円日当」などとも発言した。これについて「のりこえねっと」は5日付で抗議声明を発表。団体では、交通費相当の金額を支給し、現地の様子を発信する「市民特派員」を募っている。

琉球新報は、社説や一般記事で番組を「沖縄ヘイト」と批判した。沖縄タイムズの与那嶺一枝編集局次長兼報道本部長は「きちんと取材をせずにデマを公共の電波に乗せている。見過

かれたという。地元紙の沖縄タイムズと琉球新報は、社説や一般記事で番組を「沖縄ヘイト」と批判した。沖縄タイ

ムスの与那嶺一枝編集局次長兼報道本部長は「きちんと取材をせずにデマを公共の電波に乗せている。見過

ごせば同じような番組が次々に出てきかねないという危機感があった」と話す。

元日本テレビディレクターで上智大教授の水島宏明さんは「『連中』といった言葉を使い、最初から反対派を敵視している。公平な立場で伝えるという大前提が守られていない」と指摘。『沖縄の歴史や基地問題の背景を無視し、バラエティー的な演出で笑いの対象にしていた。伝聞や臆測は伝えないという基本も守られておらず、放送倫理を大きく逸脱する内容だった』と話す。